

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3

本部・部名	県土づくり本部	課名	河川砂防課	事業名	水防情報施設整備費
種別	河川	事業区分	維持管理（施設）		

事業目的	水防テレメータシステムにおいて、出水時にリアルタイムでの雨量・水位等の気象情報や排水機場の操作状況等を同時に表示し把握することで、水防活動の円滑化に役立てている表示板の耐用年数が経過し、交換部品が生産中止になるなど水防活動に支障を来す恐れがある。更新することで、スムーズな気象状況等の確認・予測、指示・伝達が図られ、水防活動の円滑化が確保される。また、耐用年数を過ぎた雨量観測局の直流電源装置を更新し太陽電池化することで、トータルコストの縮減を図る。
------	---

定性評価	自然環境保全	屋内の施設また既存施設の更新のため、自然環境への影響はほとんど無い。
	生活環境対策	既存施設のリサイクル化に努める。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注）（ ）内の数字は満点

箇所番号	路河川名及び地区・箇所名	所在地		事業費		公共単独の別	完成予定年度	評価視点：位置付け				評価視点：必要性・効果					評価視点：実施環境					評価	判断					
		市町村名	大字等	総事業費 (百万円)	H25 要望額 (百万円)			評価指標：点検 診断結果による 判定		評価指標：点検 診断結果による 判定（対象機 器、施設の重要 度）		評価指標：構造上の課 題			評価指標：破損 錆の目視判断		評価指標：想定 被害区域の状況			評価指標：操作 性による判定				計	計	計		
								専門業者による診断 点検報告	小計	対象機 器の重 要度	小計	計	設置年 からの 経過	前回修 繕から の経過	小計	破損箇 所の有 無及び 錆の度 合い	小計	計	土地家 屋等の 保全	小計	操作性						小計	計
1	水防テレメータ（河川砂防課表示板）	佐賀市	城内	47	47	単独	25	40	40	40	40	80	60	20	80	—	—	80	60	60	20	20	80	AAA	I			
2	水防テレメータ（佐賀土木表示板）	佐賀市	八戸	40	40	単独	25	40	40	40	40	80	60	20	80	—	—	80	60	60	20	20	80	AAA	I			
3	水防テレメータ（雨量観測局）	県内一円		10	10	単独	25	40	40	40	40	80	60	20	80	—	—	80	60	60	—	—	60	AAB	I			

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3

本部・部名	県土づくり本部	課名	河川砂防課	事業名	河川保全費 (河川管理施設機能強化)
種別	河川	事業区分	維持管理（施設）		

事業目的	排水機場において、ポンプ運転時におけるゴミ等の流下物を撤去するための除塵機を新設し、ポンプ操作の円滑化・確実性の向上、操作管理委託先である市町操作員の労力軽減、安全の確保を図る。
------	---

定性評価	自然環境保全	既存施設へ取り付けのため、自然環境への影響はほとんど無い。
	生活環境対策	現場作業においては、排ガス対策型機械を使用し大気汚染に配慮する。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		事業費		公共 単独 の別	完成 予定 年度	評価視点：位置付け				評価視点：必要性・効果			評価視点：実施環境				評価	判断			
		市町村名	大字等	総事業費 (百万 円)	H25 要望額 (百万 円)			評価指標：点検 診断結果による 判定		計	評価指 標：浸水 被害軽減 家屋、面 積数	評価指 標：堤防の危険 度	評価指 標：福祉 又は公共 施設の数	計	評価指標：想定 被害区域の状況		評価指標：操作 性による判定				計		
								専門業 者によ る診断 点検報 告	小計						対象機 器の重 要度	小計	土地家 屋等の 保全	小計				操作性	小計
1	西田川（下野排水機場）	鳥栖市	下野町	90	90	単独	25	40	40	30	30	70	60	—	10	70	60	60	40	40	100	BBA	II

【評価視点：位置づけ、実施環境】においては、「河川・ダム事業 維持管理(施設)」の評価体系で評価を行い、
【評価視点：必要性・効果】においては、「河川事業 生活関連(防災)河川局部改築(改良系)」の評価体系で評価を行っている。